JOC・JUNIOR・ORIYMPIC・CUP２０２２

全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本小・中学生選抜スキー大会

小学・中高生チームキヤプテンミーティング資料（書面会議）

≪ジュリー≫

１.　 技術代表　　　　　　　　　　　　江川　　聡

２．　A技術代表　　　　　　　　　　　田中　靖治

３．　競技委員長　　　　　　　　　　 髙橋　浩一

≪セクレタリー≫

栗原　邦彰

≪競技説明≫

１．管理棟について

（１）　大会当日の管理棟への入館はビブ及びＩＤカード着用者のみ許可する。

（２）　管理棟の室内トイレはビブ及びＩＤカード着用者のみ使用を許可する。

（３）　更衣室は、チームテント及び主催側が準備したテントを使用してください。

（４）　管理棟の更衣室は使用できません。

２．ドロー及びスタートについて

（１）　中高生（ドロー）

**ジュリー会議の結果、ドロー・スタート順を下記のとおり変更しました。**

ア.　エントリー総数（ポイント保持者・０ポイント者）４組を編成し、組毎ドローを行った。

イ.　スタート順は、３．４．２．１組で発走する。

ア.　エントリー総数（ポイント保持者・０ポイント者）で４組を編成した。

イ.　ドロー・スタート順は３（ポイント大→小）、４（ドロー）、２（ポイント小→大）、１（ポイント保持者・０ポイント者でドロー）とした。

ウ.　１２日のクラシカル種目は、女子（９：３０：１５）・男子（１１：００：１５）に競技を開始する。

エ.　１３日のフリー種目は、午後からコンバインド競技（後半フリー）が行われるため、女子（９：３０：１５）・男子（１０：２０：１５）に競技を開始する。

（２）　小学生（ドロー）

ア.　各都府県ランキングただし北海道は北・南毎のランキングに基づいて４組を編成し組毎ドローを行った。

イ.　スタート順は、1．２．３．４組で発走する

ウ.　クラシカル種目及びフリー種目の競技は、男子（１４：００：１５）・女子（１４：２０：１５）開始する。

３．コースについて

（１）　中高生

ア.　中高生の競技は５ｋコースを使用する、尚、コースは７：３０に開放する。

イ.　１２日のクラシカル競技のW―UPは、女子組スタート終了後コースを開放する、開放時は放送で知らせる。

ウ.　１３日のフリー競技は女子スタート後コースの開放はしない、男子のW-UPはＵＰコースを使用して下さい。

（２）　小学生

ア.　小学生の競技は２．５ｋコースを使用する、尚、コースは１２：００に開放する。

（３）　共通

ア.　ＵＰコースは、競技本部の東側に約２ｋコース及びスタートエリアの西側に準備する。

イ.　WAXテストコースは、管理棟の北側に準備する。

ウ.　競技コース内でW-UPを行う場合は、小学生（男子）・中高生（女子）競技開始５分前まで開放する。

エ.　トレーニング中の事故防止について、５ｋｍコース（約３．８k）地点下り坂及び２ｋｍコース（約１．１ｋｍ地点）上り坂の交点において衝突事故が起きないよう注意してください。

オ.　３月１０日午前中のトレーニングはクラシカル走法のみとし、スケーティング走法は、ＵＰコースでトレーニングを行って下さい。

カ.　小・中高生のクラシカル競技は２トラックで行います。

４．　会場について

（１）　会場のレイアウトは、管理棟から西側に向かって、１列目（フィニッシュ及びゴールエリア．２列目（移動経路）．３列目スタート待機場、及び、スタートエリア．４列目（周回）を設定する。

（２）　フイニッシュゾーンは約８０mとし、３コリードを設定する。

（３）　スタート位置への入、退場は、テントエリアの北側から会場に向けて、入場経路・退場経路設けるのでその経路を利用し移動する。

（４）　会場への入場は、選手用ビブ及びスタッフ用ビブ着用者のみ入場が出来る。

５． トランスポンダーについて

（１）　トランスポンダーの交付は、スタート前にスタートエリアの南側に交付場を設け、その交付場で配付する。

（２）　トランスポンダーの交付を受ける選手は、ビブを着用し選手自ら交付板から取り受領する。

（３）　交付の開始時間は、中高生競技（９：００）・小学生競技（１３：３０）から行う

（４）　１組（2個）とし両足の足首にそれぞれ確実に装着する。

（５）　受領した選手はスタジアムの外に出ることを禁止する。

６．競技について

（１）　DNSが予めわかっている場合は、競技本部２Fのセクレタリーにビブを返納して下さい。

（２）　質問及び調整事項は競技本部（管理棟２F）のセクレタリーに申し出ください。

７．観客について

（１）　観客は、駐車場入口より以北への立ち入り禁止とし、観戦する場合、駐車場入口から西側に観戦地域を準備する、案内係の指示にしたがって、その地域で観戦して下さい。

（２）　大声による応援は、自粛して下さい。

（３）　トイレは観客用の野外トイレを使用して下さい。

８．レースオフイスについて

（１）　競技本部は、健康の森管理棟２階（北側）に開設する。

９．抗議について

（１）　規則に基づき書面で競技本部（セクレタリー）に提出して下さい。

１０. 救護について

（１） 救護所は、ゴールの位置の東側にプレハブを設置し救護員が待機する。

１１. 掲示板及び成績の掲示について

（１）　非公式、公式リザルト掲示板は、競技本部の東側に設置する。

（２）　非公式リザルトの掲示から１５分後公式リザルトに変更する。

（３）　公式リザルト用紙は配付しないので、ホームページで確認して下さい。

１２. ゴール後の選手の行動について

（１）　ビブ、トランスポンダーは、各自で専用BOX入れる、返納後は、回収場からスタート待機場に戻り衣類及びスキー等を回収し指定の通路を移動し退場すること、その後は会場には入れない。

（２）　会場内のＵＰコースに於けるクーリングダウンは、禁止とする。

１３. コロナ対策について

（１）　競技及びＷ－ＵＰ以外は、マスクを着用すること。
 （２）　選手の移動及びスタート前の待機位置での選手の間隔は、密状態にならない様に十分な

　　　 距離を取ること。（４）　掲示板によりリザルトを確認する場合、密を避けること。